



《第5回 期待する成果(主催者・事務局側の成功イメージ)》

・これまで4回で得ることができた相互理解と信頼関係、連携のきざし、さまざまな事業アイデアを再確認し、10年後の阿久比町の理想像に向けて一歩踏み出す力をわかちあう

・この成果を継続し、まちづくりに生かしていく中間支援※の人材が生まれる(※行政と地域の間にとって様々な活動を支援すること)

地域をつむぐ「縁結び人」養成塾 実践研修モデル協議の場①阿久比町

第5回の目的、進め方	1
阿久比マルシェ構想	2
グループワーク⇒発表	2
全体意見交換	2、3
協議の場感想	、4

2012. 12. 21

NO. 5

## 「みんなで作る あぐい」の夢事業

### 協議の場ニュースレター

平成24年12月21日(金)13:00から阿久比町中央公民館にて第5回協議の場が開催されました。事前資料で協議委員にはスタッフプログラムを渡し、“第5回の目的、進め方”“第5回協議の場を終えた後はどうしましょうか?”という2点をみなさんと相談したいというファシリテーターからの投げかけから始まりました。

#### ■ 第5回の目的、進め方

今日のみなさんの貴重な時間をどのように使いたいですか?

具現化することを目的に、1つか2つに絞って計画シートに合うような議論をしてみたい。グループ分けをして話をしてはどうですか?

株式会社CAC 山崎さんと一緒に、カメラマンの石川さんが来ていて協議の場の様子を取材し、番組で放映してくれます!!

具体的な取り組みについて単体では難しくてもコラボレーションすることで進められるのではないかと。例えば、子育て支援と高齢者の連携をさぐってみてはどうですか?

10年後の夢について、それぞれの所属の一人としてどのようなことをイメージするのはどうですか?

は〜い!! 密かに“妄想計画書”をつくってきました!

個人としてできることは見えてきた。参加できる場所に参加して形になるといいな。

このメンバーで共有はしているが、目標は阿久比全体だと考えると、具体的な話をすると協議委員しか担うしなくなる。結局誰がやるのか? 良い案が出て、実践するには難しいのではないかと?

具体的取り組みで、話を掘り下げて発想を模索する。言い出した人がやらないういけなくなると、誰もできなくなってしまう。

#### ■ 阿久比マルシェ構想(妄想計画書)



・『MADEinあぐい』が集う装置としての市

・農業の町あぐいを他市町にPRする市。

・市民参加型市。元々の阿久比町民、新しく阿久比町民になった方が気軽に集う市。手づくり市、カフェ。…

守口さんの案に対して、グループに分かれて、マルシェ構想について話し合いました!!

#### ■ グループワーク⇒発表



【グループワークから】

- ・市民参加型のもの
- ・古き良き阿久比をPR
- ・はじめは小さく、発展していくようなイメージ
- ・人と人がつながる場
- ・おしゃやれで、自然のものがある
- ・素人が小さなお店を出店
- ・協議委員は“つなぐ人”(ヒト・モノ・情報)
- ・子どもたちが阿久比を誇りに思えるように!!
- ・みんなが恩恵を受けられる。形になって阿久比の何かに役に立っている

【住民税1%町民予算枠について】

- ・来年度も実施すると思う
- ・春〜夏に公募がかかる。秋に審査。採択されると26年度に事業実施。
- ・要件→5人以上の団体をつくり、一定の目標を持っていること→営利を目的としない→公益性を定める



#### ■ 全体意見交換・協議の場の感想

マルシェ構想は、1つの事業をやることでMADEin あぐいを売り出していくことで全体性も個々の活動も補い合える。子どもが店員になったりと地域で教育の場が増える。

企業の立場と言えること、言えないことがあった。それでも阿久比に対する率直な意見が出て、従業員の立場を超えて、個人としてつながれたらいいと思った。この場は、点が線につながってやがて面になって広がっていくといい。

この会で得た情報や人を紹介するPRマンでありたいと考えている。みなさんとのご縁は財産だと思っている。住民税1%町民予算枠や、60周年事業の様子を見ながら人をつなぐことをしていきたい!

高齢者がいかに楽しく生きがいを持って生きていくための、意見や知恵をみなさんからいただいた。これを生かしていきたい。

みなさんとの出逢いで、発想が広がり、とても貴重な体験だった。早速来年行うわくわくアグフェスタにつなげていきたい!

守口さんの妄想はよかった。ここをきっかけにアイデア出しや阿久比の人にいろいろな意見を聞けるきっかけづくりになることが大事だと感じた。阿久比町をもっと好きになっていきたい!

若い人の発想の豊かさを感じた。前回マルシェの話聞いたとき、目から鱗だった。実現に向けて応援したい。

毎回刺激的だった。町民にみなさんの声が聞けて勉強になった。マルシェを実現させたいのは、人が集まってモノが集まって、お金がまわって、情報がまわる。行政の立場だからできることもある。是非協力したい!!

協議の場に参加して、考える機会をもらった。人材を発掘して出会う機会の意味を感じた。地域でも話し合いの場が必要なので、企画を学びたい!!

つながる場の重要性を感じた。できないことをカタチにしていけるためには、それぞれの役割をうまく生かしてつながっていくことだと思った。視野を広げてつながっていけるといい。

アメリカの就職先ランキングトップはNPOだと聞いた。金がなく、資源がなく、物がない状況でもやっていくには、目的意識を持っていくことが重要。みなさんと知り合えたことがありがたい。今後ともお付き合いをお願いしたい。

今できることは、私の場合一度持ち帰って、自分たちで何ができるのか協議したい。とてもいい場だった。

## ■参加者アンケート

### 1. この協議の場を通してできたネットワークを活かしたと思いますか？

- ・ぜひ生かしていきたい。
- ・ぜひつながれることを活かしていきたいです。
- ・必ず活かしたいと思います。
- ・yes。
- ・皆さんと知り合えたことが私の財産になっています。形にすることを急がなければ来年度の60周年事業、町民税1%枠事業を見てからやれることを考えていきたい。
- ・ぜひ活かしたいと思います。新たな人脈ができたこと嬉しく思います。
- ・活かしたいです。すべてのメンバーと阿久比町のさらなる発展のため協働したいです。現場見学できなかった事業所へも機会があれば訪問したいです。
- ・ぜひそうしたいと思います
- ・活かしたいと思います
- ・会社の考えに基づき、機会があれば活かしていきたいと考えます

### 2. 1で「はい」と答えた方にお聞きします。そのためにあなたのできることは何ですか？

- ・応援、手助けしたいです。
- ・そばの栽培を生かして、場所の提供やそばを作った何かイベントなど。
- ・このメンバーを中心に「きっかけづくり」をしたいと思います。また出来ると思います。
- ・自身のネットワークの紹介
- ・広報マンとして各分野のエキスパート同士をつないでいくこと。
- ・協議の場の阿久比版をどう開発し、新たな縁を作ることが出来るかがこれから自分の課題です。
- ・私にできることは、メンバーの近況報告集作成の提案です。メンバーの皆さんは、非常に前向きに与えられた任務を遂行されています。この真摯な姿の一端を最初は12名の参加者で発信し合っただけではないかでしょう。

- ・商工会という組織を活かした交流や連携を持てたらと思います
- ・来年行う“わくわくAguフェスタ”でMade in Agui商品にスポットをあてる
- ・地域と会社(従業員)との橋渡し

### 3. “協議の場”のような話し合いの場の有効性について感想を聞かせてください。

- ・いろいろな職種の方々とお話ができ、とても有意義な場であると感じました。
- ・コーディネーターが重要だと思います。今回の成功は水谷さんはじめ、みなさま方(サポートちたさん)あってこそだと実感しています。
- ・テーマがあれば色々な話し合いが出来るということを実感しました。
- ・地元へ帰ってからの人々への伝達がカギ。
- ・これまで「福祉畑」の人脈だったり、会っていても深くお話しできていなかった方、多様な方と広いテーマでお話しすることができ発想が広がりました。
- ・12名のメンバーが“協議の場”という「北斗七星」からこれからの指針のようなものを得たと確信します。私自身は、高齢者の生活支援全般にわたってヒントが得られました。
- ・短い期間ではありましたが、楽しく過ごさせていただきました。私は、何の役にも立てませんでしたが、阿久比の中での世界が広がりました。ありがとうございました。
- ・話し合いの結果何も形として残らなくても何かの種は植えることができたと思う。種から芽が出れば、育てようと思う人が必ず出るのでしょ。違う立場で自由に意見を出し合うことで生まれるものは何かあるはずだと思います。
- ・前例や固定概念に捉われず、多角的な視点からの話し合いは有効と考えます。

### 4. そのほか気づいたことや思ったことを何でもどうぞ。

- ・マルシェ 期待と行動を起こしたいですね。
- ・ただ集まっただけではモチベーションが上がる場になるとは思いません。今後もぜひ活躍を期待しています。
- ・参加させて頂きありがとうございました。
- ・協力がなかなかできなかつたりご迷惑をおかけしました。企画のみなさん、本当にありがとうございました。
- ・小さな字のわずかな会員の「いきいきクラブ」の会長として、また複数の組織の事務局長としてサポートちたさんのこの事業の運営がとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・江ノ上さん、またいつでも商工会にお越しください。
- ・実は、私、人づきあいが苦手です。でも今回“協議の場”に参加して人とつながることの楽しみたいなものを感じました。自分の貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
- ・方向性を定めていくのに時間を要したと思いますが、点から線、線から面への地域ネットワーク形成への足掛かりとなったことで協議の場は有意義であったと思います。

発行・お問い合わせ先：地域福祉サポートちた  
 〒478-0047 知多市緑町12-1 知多市民活動センター1階  
 TEL 0562-33-1631 Fax0562-33-1743  
 E-mail [spchita@ams.odn.ne.jp](mailto:spchita@ams.odn.ne.jp) 担当：江ノ上